

例会報告：2013年2月19日（雨）第1786回年通常例会

【続き】備などやっておりますので、若干奉仕活動をしているのかすかに感じる程度しか奉仕に対する実感はありません。私はこの6年間奉仕をしているのかなという気になった事がほとんどありません。私の考える奉仕というのは、まずその奉仕をしようという奉仕の心を持つことがまず1番であり、2番目にそれを行動で起こす。その2つが合わさって初めて奉仕だと思います。個人的な意見ですが、このクラブが何か一つまとまって一丸となって取り組めるような奉仕活動が出来たら素晴らしいなと思っております。そういうことが出来れば絆も深まるし、このクラブの発展にも大きな影響を与えるのではと思います。私はこのクラブに縁があって入った訳です。良き仲間と巡り合えて、それは凄く良かったなと感じています。しかし、気の合った友達と楽しく過ごして中々居心地の良い場所だなど、そんな意味合いだけで此処にいるのが最近ちょっと寂しいような気がします。私は出来る事ならば何か一つこのクラブが一つとなって奉仕活動が出来たら良いというのが、今私の考えるロータリー活動です。

☆ ビジター

桜井 正博様（小田原RC）

☆ 会員誕生日

櫻井 康二さん（2月19日）

☆ 結婚記念日

柳井 渉さん（2月25日）

☆ ニコニコ箱

梶持 悟委員

	ニコニコ箱	累計	目標
2月19日分	14,000	682,040	1,300,000

* ビジター

桜井 正博様（小田原RC）…よろしく御願います。

* 会員誕生日

櫻井 康二さん…誕生日の祝いありがとうございます。

今日で43才です。

* 結婚記念日

柳井 渉さん…結婚記念日の御祝いありがとうございます。

* 奥様誕生日

木村 頼弘さん…2月18日、家内に誕生日の花が届きました。ありがとうございます。

* その他

小林 泰二さん…久保田さん先週は義理チョコを有難う御座いました。

菊地 義雄さん…今月は入会月です。25年目です。

石崎 孝さん…本日の指導者育成委員会のフォーラムよろしく御願います。

須賀 俊和さん…先週タイに行ってきた。例会をお休みし、委員会の皆様にはご迷惑おかけしました。次回は3月10日より向かいます。



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介します！

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年2月-

- ▶ 27日(水) **小田原北 報徳会館 12:30**
「会員卓話」
小田原城北ローターアクトクラブ
足柄屋STUDIO(ダイヤ街) 19:30
小田原市栄町2-9-10 ナイス小田原ビル3F
☎0465-23-2331
「音楽フェス」
- ▶ 28日(木) **小田原中 報徳会館 17:30**
「クラブ・フォーラム/新会員セミナー報告」

-2013年3月-

- ▶ 1日(金) **湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30**
「卓話:平間 章弘会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」
- ▶ 4日(月) **小田原 報徳会館 12:30**
「鈴木丈織様 (US心理学博士・US医学博士) 株式会社ビジネスラポール代表取締役」
- ▶ 5日(火) **箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30**
「卓話:勝俣 恵会員」
- ▶ 6日(水) **小田原北 報徳会館 12:30**
「会員卓話」
- ▶ 7日(木) **小田原中 報徳会館 12:30**
「卓話:田中 康之様(株)はとバス営業企画部長) 是とバスから見た東京観光」
- ▶ 8日(金) **湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30**
「卓話:神谷 一博会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」
- ▶ **10日(日)小田原城北ローターアクトクラブ** マロニエ13:30
「鈴木 伊佐夫先生/舌癒着症講演会」
- ▶ 11日(月) **小田原 報徳会館 12:30**
「卓話:小田原市経済部管理監/被災地復興情報と小田原の支援」
- ▶ 12日(火) **箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30**
「卓話:窪沢 吉幸会員」
- ▶ 13日(水) **小田原北 報徳会館 12:30**
「会員卓話」
- ▶ 14日(木) **小田原中 報徳会館 12:30**
「卓話:石川 学会員/自己紹介」
- ▶ 15日(金) **湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30**
「卓話:石川 博会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会 長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹 事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1787回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2013年2月26日 12:30～13:30

司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱「それでこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：プログラム委員会 卓話：菊地 義雄会員・中村 維孝会員 「私の10代」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

寄稿 (2/7)

仲田年度（05～06年）の地区大会でRI会長代理、韓国の姜 順紘（カンスンヒョン）さんが言っておりました。マザーテレサさんが、金品の提供をして下さるのも嬉しいが、慈愛の心や思いやりの心があればもっと嬉しい。又、杖の話もしておられました。盲目の私達に杖の寄贈も嬉しいが、交差点でそっと差し出してくれる小学生の姿にもっと感謝するとも言っておりました。又、ロータリアンの大先輩が教えて下さいました奉仕とは、アメリカの喜劇役者ダニー・ケイさんが登壇する前に照明をすべて消し、登壇してからお客様にマッチ一本 皆様につけてもらう。人々の善意が周囲を明るくする。南米でモロコシの品評会があり、村一番の優秀品を作った農夫が、その種を自分だけの物にしておかずに村全体の村民に配布し、その村全体がモロコシの優秀産地になり、村が栄えたという話です。奉仕とは利他の心。己の幸福を感謝し、人に尽くす心が求められているのではあるまいか。超我の奉仕を實踐してゆきたいものである。ロータリーとは親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団である。

河野 秀雄

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

3月5日 通常例会 12:30
担当：国際交流プロジェクト
卓話：未定
「未定」

3月12日 通常例会 12:30
担当：会員増強委員会
卓話：高橋 哲也会員・大川 裕会員
「新会員イニシエーションスピーチ」

3月19日 通常例会 12:30
担当：小嶋章司会長
卓話：秋山里奈様
明治大学 法学研究科博士前期課程2年
伊勢原市出身
「ロンドンパラリンピック競泳女子100m 背泳ぎ金メダリスト」



3月26日 通常例会 12:30 (クラブ協議会)
担当：執行部
卓話：露木 清勝会長エレクト
「PETS報告」

例会報告：2013年2月19日（雨）第1786回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

「出席義務」

小嶋 章司 会長



ロータリーは1905年2月23日シカゴにおいて最初の会合が開かれた日を記念してロータリーの創立の日と定め、2月を「世界理解月間」としました。この第一回会合はポールハリスを含め4人だけでした。ところで出席は会員の最小限の奉仕です。出席なくしてロータリーの目的は達せられず、ロータリアンではありません。それは出席によってはじめて親睦が得られ、奉仕の理想が高められるからです。

ロータリーは「会」や「事業団体」ではなくクラブです。クラブは一人一人に主体性が置かれるものであれば同好者の集まりです。出席せぬことは同好者でないことになり、ロータリーの会員の資格を放棄したことになります。

欠席の理由にはいろいろあると思いますが、「ロータリーが面白くない」「ロータリーに重きを置いていない」に尽きると思います。こうした欠席者を出さぬ為に、新人会員の推薦の段階において出来る限り慎重にやるべきだと思います。

すなわち、推薦者は出席の可能性を十分検討の上で行うべきだと思います。出席こそロータリアンの資格であることを強調すべきだと思います。

ポールハリスは言っています。「どんな人でも定められている通り定期的にロータリーの例会に出席すれば、必ず親しい交際によって自分の生活が豊かになり、自分の精神や道徳観がそこで提供される文化的行事によってたかめられていることに気づくのである」

この言葉はロータリーの綱領の第一に「奉仕の機会として知り合いを広めること」とまさに同じことを言っています。例会に出席していろいろな職種の人たちと出会い、友愛心を交流させることが自分の職業観を高め、奉仕の心を養う大切な機会になるのだというのが綱領第一の意味です。クラブ活動を通じて友愛心の交流する場を作り上げること、それが例会であり会員は心の友を求めつつ例会に出席します。

当小田原城北ロータリークラブの石崎会員は入会してから21年間一度も例会を欠席していません。又杉崎会員も20年間欠席していません。健康だからこそ出来ることで私はこの二人の業績に対して本末転倒と言われようと別の機会に表彰したいと思えます。

❖ ローターアクト 第24回地区年次大会

国際ロータリー第2780地区 ローターアクト 第24回地区年次大会が相模原市民会館にて、行われた。菅原ガバナをはじめ、多くのロータリアン・ローターアクトの出席の中、盛大に行われた。城北RCからは、中野副会長・久保田幹事・木村プロジェクトリーダー・須藤サブリーダーが出席した。



❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)3月5日11時より理事会がありますので、理事の方はよろしくお願致します。

❖ 出席報告

村瀬 雅實委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
2月19日	49(48)	41	2	89.58%
2月12日	49(47)	41	0	85.37%
2月5日	49(49)	37	0	75.51%

- 【欠席者】 7名
辻村 彰秀、上田 博和、清 康夫、石橋 徹、田代 博信、大川 裕、太田 忠
- 【今回MU】 2名
清 康夫 (2/18 小田原RC)
大川 裕 (2/16 新会員の集い)
- 【前回MU】 増加なし
- 【前々回MU】 1名増
小林 和彦 (2/5 小田原城北RAC)

❖ 委員会報告

プログラム委員会・・・齋藤 永委員長

1週間前に高野聡子さんの卓話がありましたが、お礼の手紙を頂きました事をご報告いたします。

会員増強委員会・・・石内 正彦委員長

本日午後6時からふらんす亭にて高橋哲也さん、大川裕さんの歓迎会を行いますので、参加のご返事を頂いている方はよろしくお願致します。

❖ Table Flower

- スプレーション
- ストロベリーキャンドル
- ピンクチーク

スプレーションの花言葉は、「集団美」
ストロベリーキャンドルの花言葉は、「私を思い出して」
ピンクチークの花言葉は「永遠にかわらない」「途絶えない記憶」



❖ 卓話

「私の考えるロータリー」

指導者育成委員会 石崎 孝委員長



私がこのロータリークラブに入会させていただいたのが、平成3年の10月でございます。確か翌年に今は辞められている泉さんより、国府津館で小田原クラブの篠島さんによる新会員の勉強会があるから出ないかというお誘いを頂きました。その中でロータリーとはという話もあり、4つほど覚えております。ロータリーは奉仕の団体であるということはそれとなくわかっていましたので奉仕という言葉と、善意と友愛という言葉と寛容の4つの言葉は今でも覚えております。私もロータリーに入会させていただいて20年位経つのですが、今になってやっとその言葉の意味が自分なりに理解した気がします。ロータリーは奉仕をする団体なのですが、それでは奉仕とは何なのかという話になるのですが、一般的には弱者や困っている方に手を差し伸べる活動をしていくということです。ただ弱者や困っている人に手を差し伸べる時にどういう気持ちでするかという事だと思うのです。奉仕活動をする時にロータリアンの1人1人の心の状態がどうであるかという事ではないかと思えます。ですので、私たちが奉仕活動をする時に見返りを求めるとか、思い上がる気持ちで奉仕をする人はいないと思えます。ロータリーの奉仕活動というのは、正義の気持ちでやるということです。例えば寄附にしてもそうです。ロータリー財団、米山に寄附しましても、このお金がきつと有効に使われるのだなというように真心を持って出すのと、しょうがないから出してどこでどう使われるかわからないという思いでとらえるのかそこが違うのだと思えます。そのように心の状態を非常に大切にしている団体なのだと思っております。それからロータリーには奉仕ともう一つ親睦というのがあります。親睦というのは皆さんと共にお酒を飲んだりして懇親を深め楽しい思いをするのも大事ですが、よくロータリーの中でロータリーとは自分を高めていく運動ではないかと言う方もおります。自分を高めていくという事は、ロータリアンの皆さんと接して磨いてもらう、それが親睦だと思います。「皆さん生きる事とは何ですか？」という問いかけが、あるセミナーでありました。一概には言えませんが、学びとやる事ですと言われました。この学びというのは親睦です。与えるというのが奉仕です。ですから、生きていくという事はロータリーの奉仕と親睦です。日常生活の中で自然にロータリーと共に生きて行く事がロータリーと私ではないかなと思っております。ですがロータリーを続けて行くには健康でなければいけません、また衣食住がままなければロータリー活動は出来ません。ですので、仕事の面でも日々精進し、ロータリーと共に生きられるように頑張っていくのではないかなと思っております。次にロータリーの情報についてお話をさせて頂きたいと思えます。ロータリーの友の1月号にロータリーの綱領について書いてあります。綱領は1923につくられましたが、これを解り易く、より実践的に出来るように、「ロータリーの目的」として変わると言う事が書かれています。なぜこんな事をしているのかという私なりの解釈ですが、ロータリーはきっかけをつくって啓蒙的な活動をして1年で終われば良いのだという社会奉仕活動でできました。現在は継続性とかクラブの自主性に任せるとか、ずいぶん変わってきております。ロータリークラブの本質は変わらないのですが、ロータリーの取り組む運動姿勢がここ7、8年で大きく変わってきているという事をロータリアンの皆さんも認識した方が良いのではないかなと思えます。今まではソフトの面が多く、精神面だとかロータリー哲学だとかが多かったのですが、現実のロータリーは実践する団体で継続事業をやった公共イメージの向上もしてと、非常に能動的な活動に変わってい

るのです。RIの戦略計画を見ますとロータリークラブが大きく運動体が変わってきている事が分かります。戦略計画についてはロータリーの友に書いてありますので読んで頂ければわかると思います。基本的に3つ「ビジョン」「使命」「中核的価値観」というのがあり、ビジョンと使命については綱領に書いてあるようなことが書いてありますが、中核的価値観というのが5つあり、この中に奉仕と親睦と多様性と高潔性、リーダーシップの5つがあります。これにのっかって国際ロータリーは活動してもらいたいという事に変わってきております。財団もRI戦略計画に合わせ、財団のお金の使い方も教育的な使い方から人道的プログラムに使うというような話であります。ですので、飢餓とか水問題ですとか、識字率の向上などの人道的な分野に使う事を奨励しております。ソフト面のロータリークラブからかなりハード面の活動に変わってきているように感じます。100周年を契機に国際ロータリーは一生懸命変えようとしておりますので、現在の活動指針をご自分なりに考えて頂ければなと思っております。

櫻井 康二会員

私が初めてロータリークラブを知ったのは、志澤さんより教えて頂いたのが初めてでした。私の父親はライオンズクラブに所属しており、ロータリーとライオンズは何が違うのと志澤さんにお伺いしたところ、同じ社会奉仕活動の団体だけどやり方や考え方が少し違うのだよというお話は聞いておりました。入ってみて勉強をする意味でも考えるのも良いだろうなと思ひ、常に頭に置いて活動をしてきたつもりです。1年ちょっと経って思ったのは、ロータリークラブは常に社会奉仕など人のために何かやろうという、気持ちを持って接するのが一番大切なのだと思ひました。自分の中での社会奉仕というのは、自分の仕事を誠心誠意持って、微力ながら誰かが喜んで頂ける、私の場合ですと仕事が塗装工事業ですので、例えばペンキを塗って誰かが、きれいになったね、ありがとう、良かった。などそれも一つの奉仕なのかなと思っております。自分の日頃の職業を真面目に真摯に向き合う事によって誰かが喜んで頂いたり、感謝をされたり、笑顔になったりと。こんなことが一つの喜びなのかな、それを気づかせてくれる一つのきっかけがロータリークラブかなと今の私の考えるところでは、そういうことだと思っております。もっと奥が深いと思ひますのでこれから興味を持ってこれからのロータリーライフをやりたいと思ひます。



木村 頼弘会員

私はロータリーに入って6年目になります。6年目の今感じる事は、親睦と奉仕について思う事があります。私にとって親睦というのは、まず自分がこの城北ロータリーに席を置くために絶対なくてはならない必要条件。親睦がなければこのクラブにいませんし、それほど大切なものだと思ひ止めています。幸いにもクラブとしての親睦、個人的な意味合いでの親睦と両方とも今の段階では充実していると私は感じております。もう一つの奉仕なのですが、今5大奉仕があります。最初に国際奉仕、社会奉仕。率直に言いますと私はこの二つの奉仕活動にこの6年間奉仕活動をしているという実感が全くありません。次に職業奉仕とクラブ奉仕は私の中では奉仕というよりも当たり前という考えが先に起ちますので、特にロータリーが考えている奉仕というよりも私の中では奉仕という意味ではとらえておりません。最後に新世代奉仕ですが、たまたまアクトで委員かをやっておりますので、彼らの活動の中で清掃活動とか、【続く】